

## 第3節

現状（河道整備状況）で大雨が降ったときに想定される洪水量

# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.1 基準となる洪水の選定

整備計画の基準となる洪水型

⇒昭和28年9月型

- 既往の洪水のうち被害が最大であった
- 現在襲来した場合に最大の流量となる洪水

# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.1 基準となる洪水の選定

- 昭和28年9月洪水の雨の量を用いて1割増し、2割増しとした場合にその地点(河口)に流れてくる流量を算出し、  
⇒現状で、いろいろな規模の雨が降った場合、どれぐらいの水が流れてくるかを把握します。

# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.1 基準となる洪水の選定

洪水毎の河川別河口地点流量一覧表

洪水名	(m <sup>3</sup> /s)							
	三田川	狐川	盛越川	兵田川	篠津川	相模川	堂の川	諸子川
S6.6.24	15	12	25	10	10	11	9	10
S10.8.10	45	20	45	13	14	36	12	13
S28.8.14	19	14	29	12	11	13	10	11
S28.9.24	51	23	50	15	16	40	14	15
S29.9.16	17	13	26	10	10	12	9	10
S43.8.17	29	19	40	15	14	20	13	14
S46.9.26	29	15	32	12	11	23	10	11
S56.10.9	42	22	48	16	17	31	14	16
S57.8.1	31	14	31	9	10	25	8	9
S60.6.25	34	15	34	11	11	26	10	10

上記主要洪水から流量が多い、昭和28年9月型を選定します。

# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.2 流域平均雨量と流量

### 流域平均雨量とは

地点雨量とは、地上観測しているその地点の降雨量

#### 解析

1. 算術平均法
2. ティーセン法
3. 等雨量線法
4. 代表係数法

流域平均雨量とは、地点雨量を流域全体で平均した降雨量

# 1. 降雨量と流量との関係

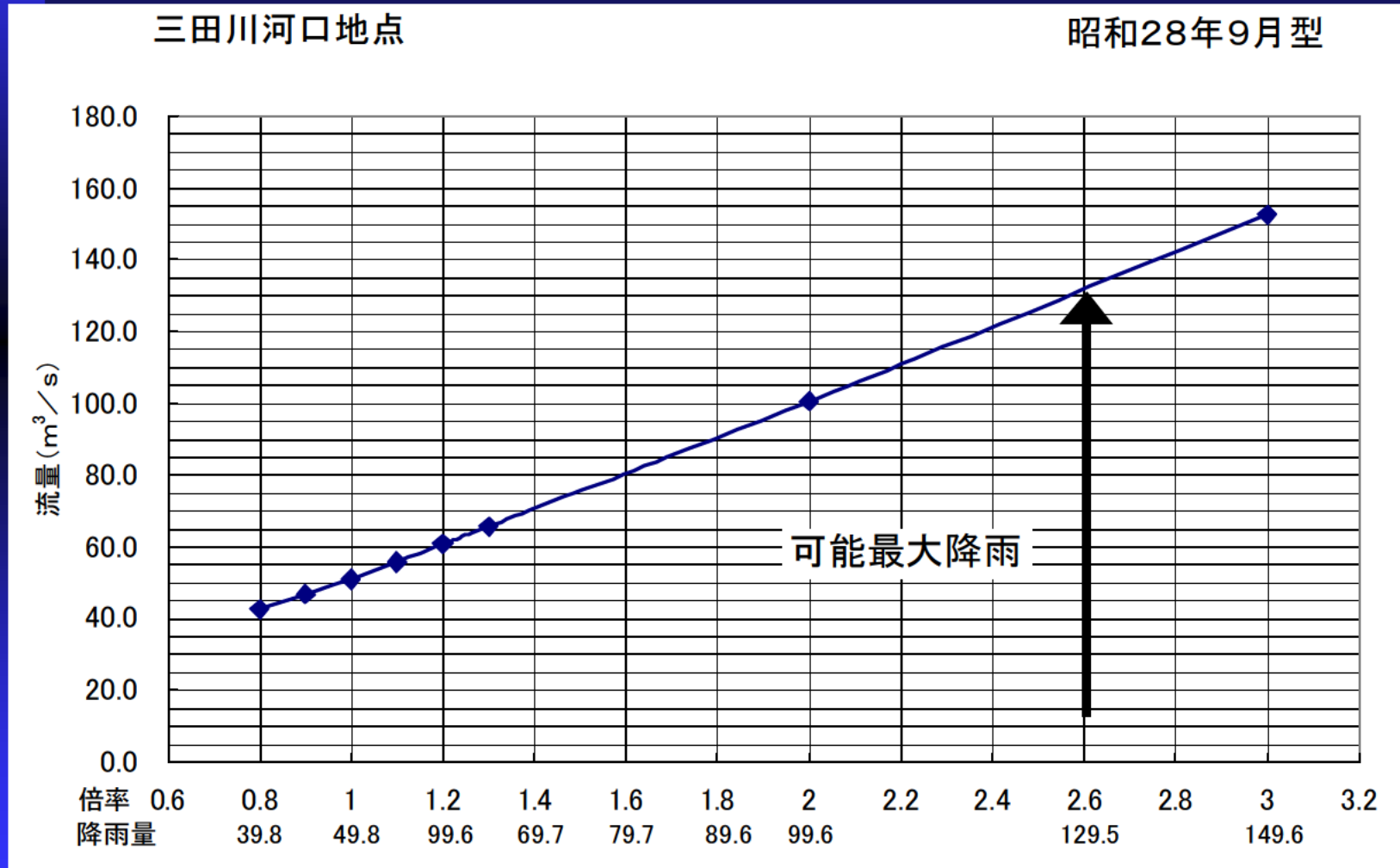
## 1.2 流域平均雨量と流量

### 雨量から流量への変換

河道(川の中で洪水を流すことのできる部分)は、現時点の状態を想定

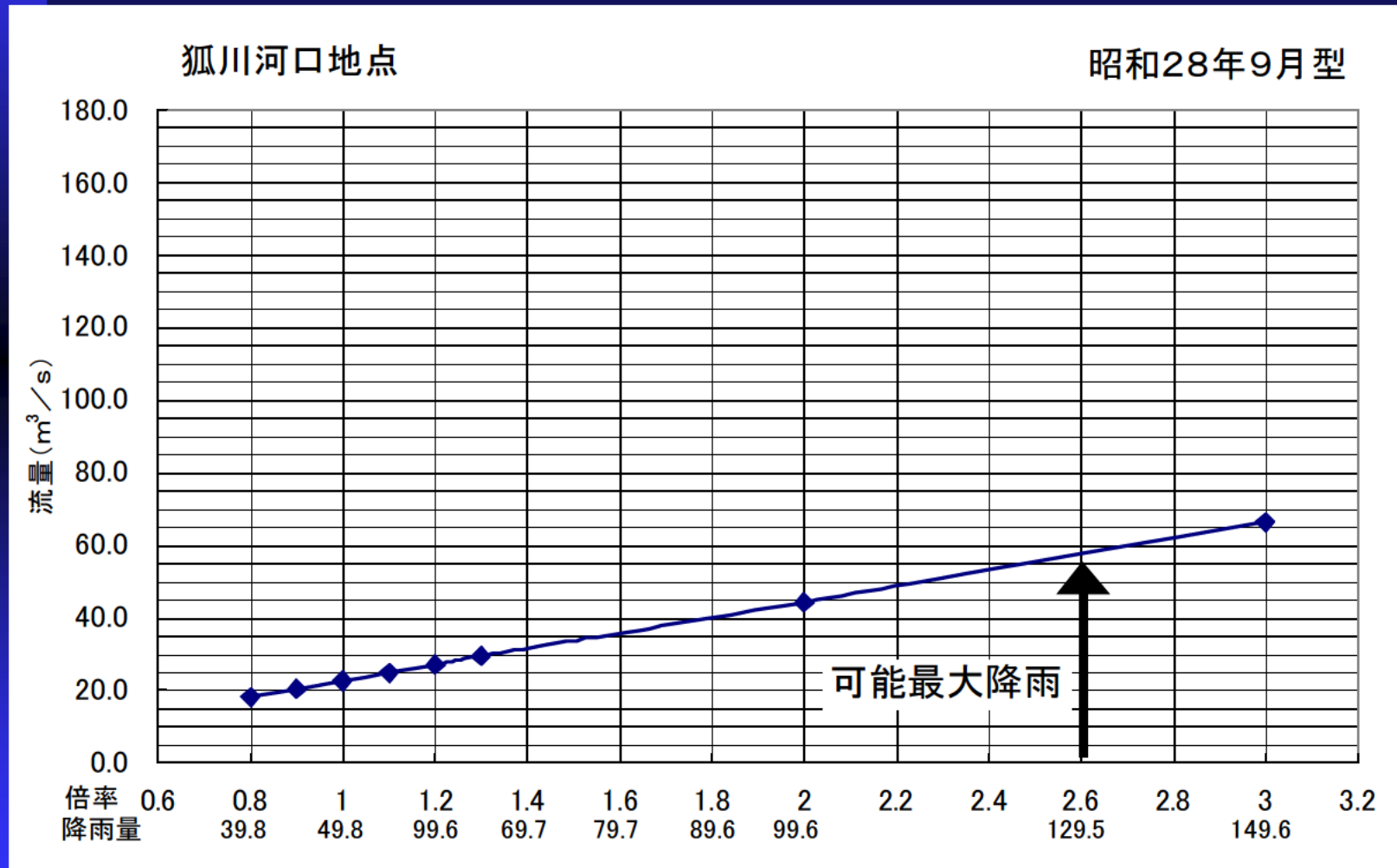
# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



# 1. 降雨量と流量との関係

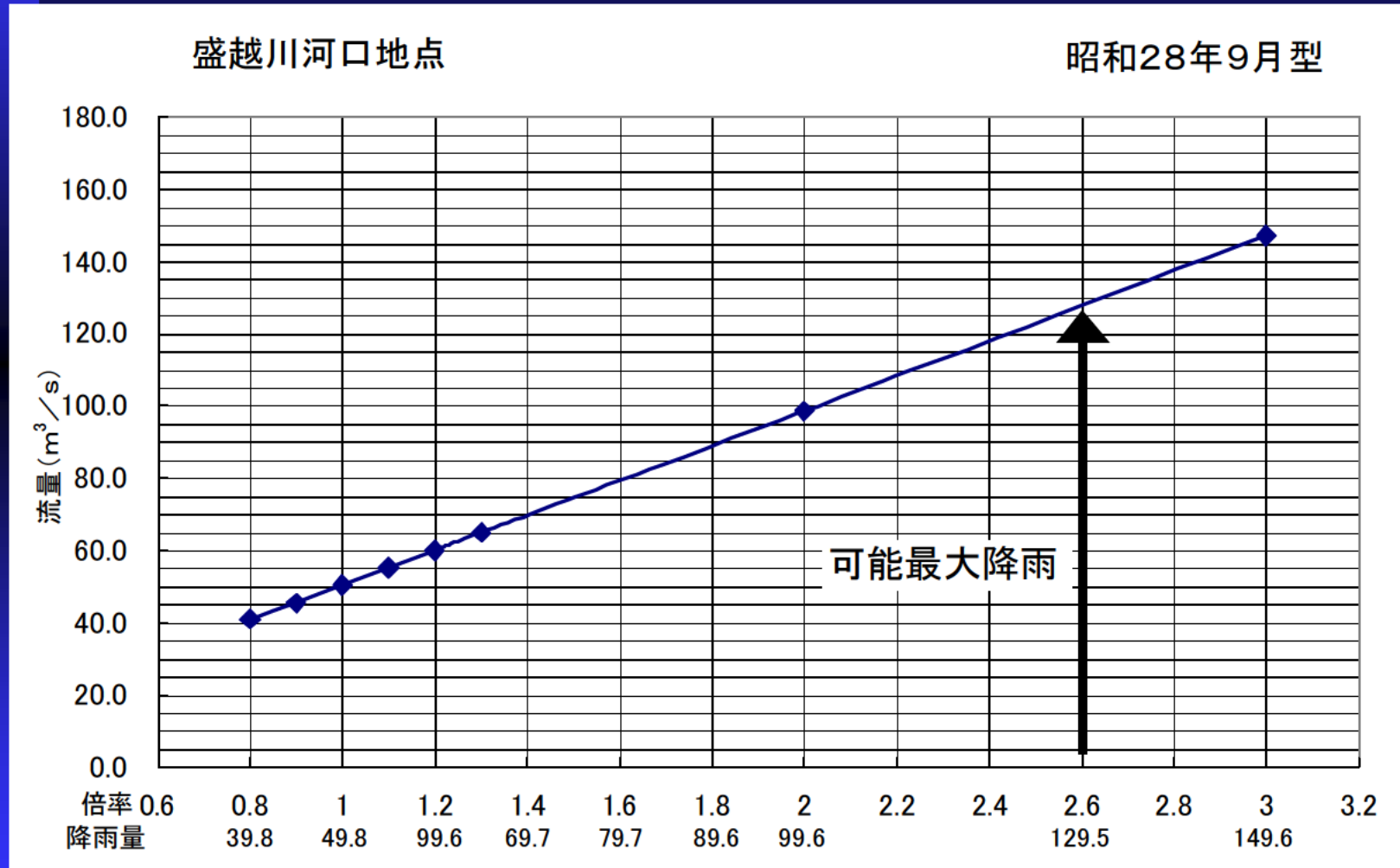
## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係





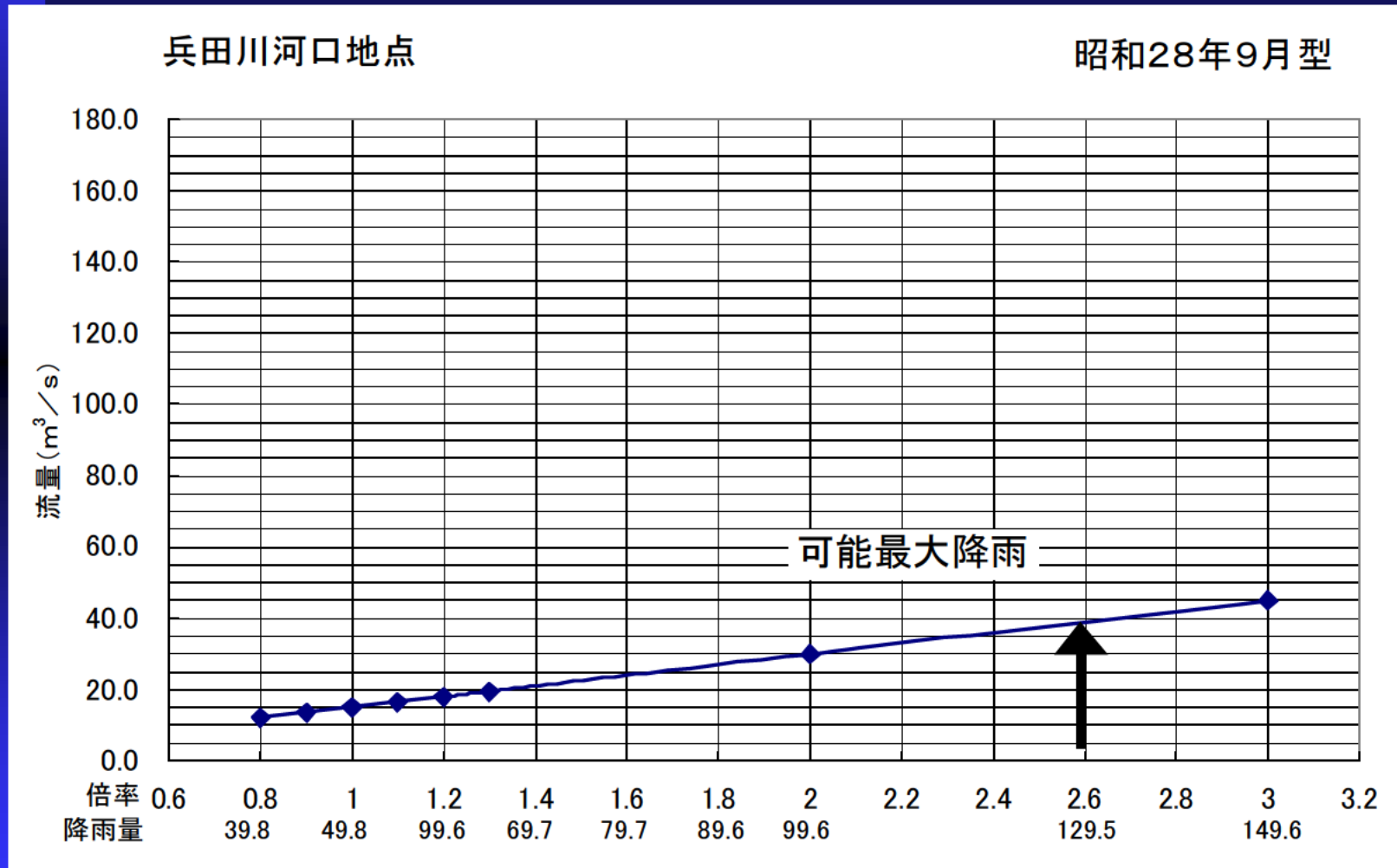
# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



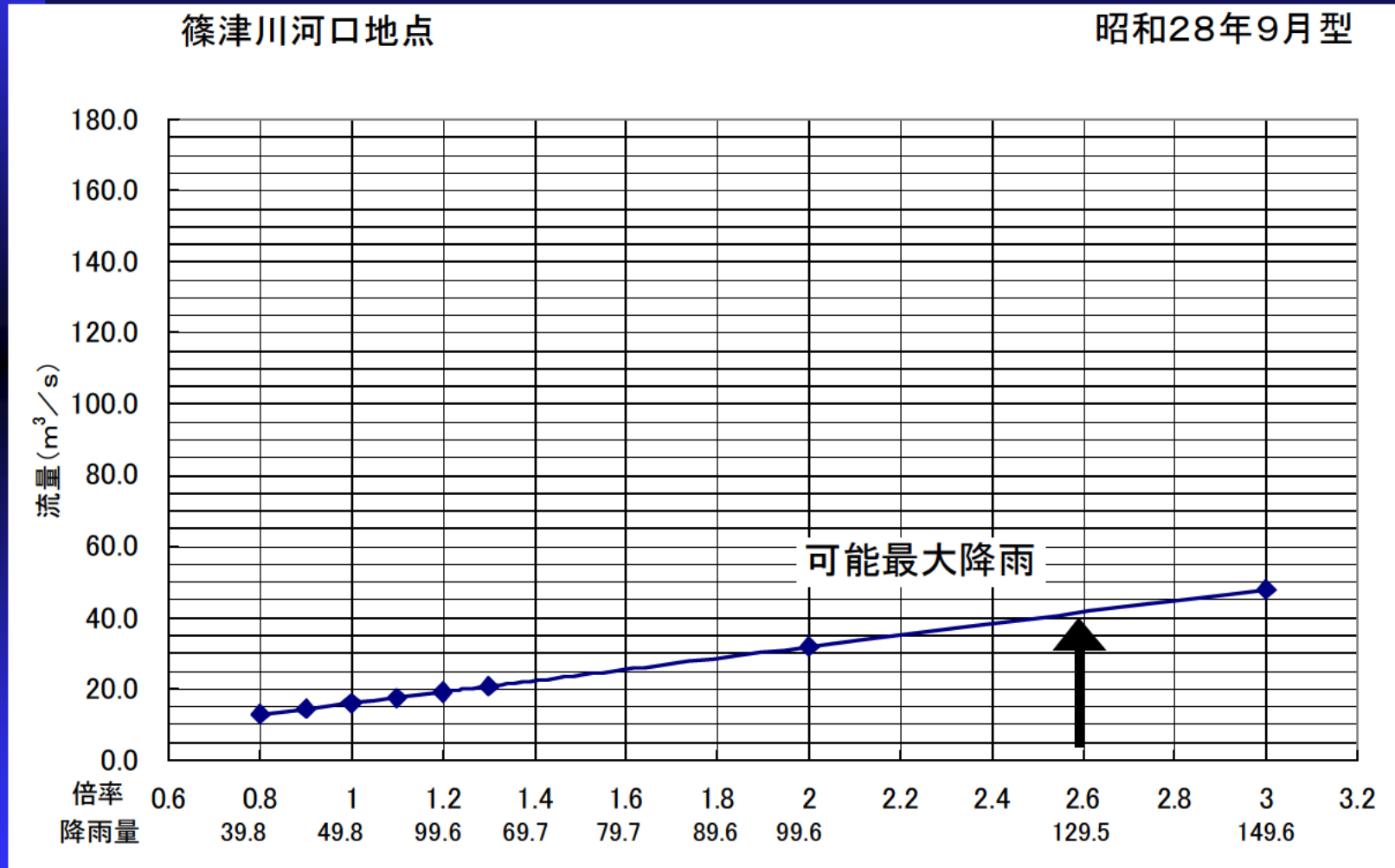
# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



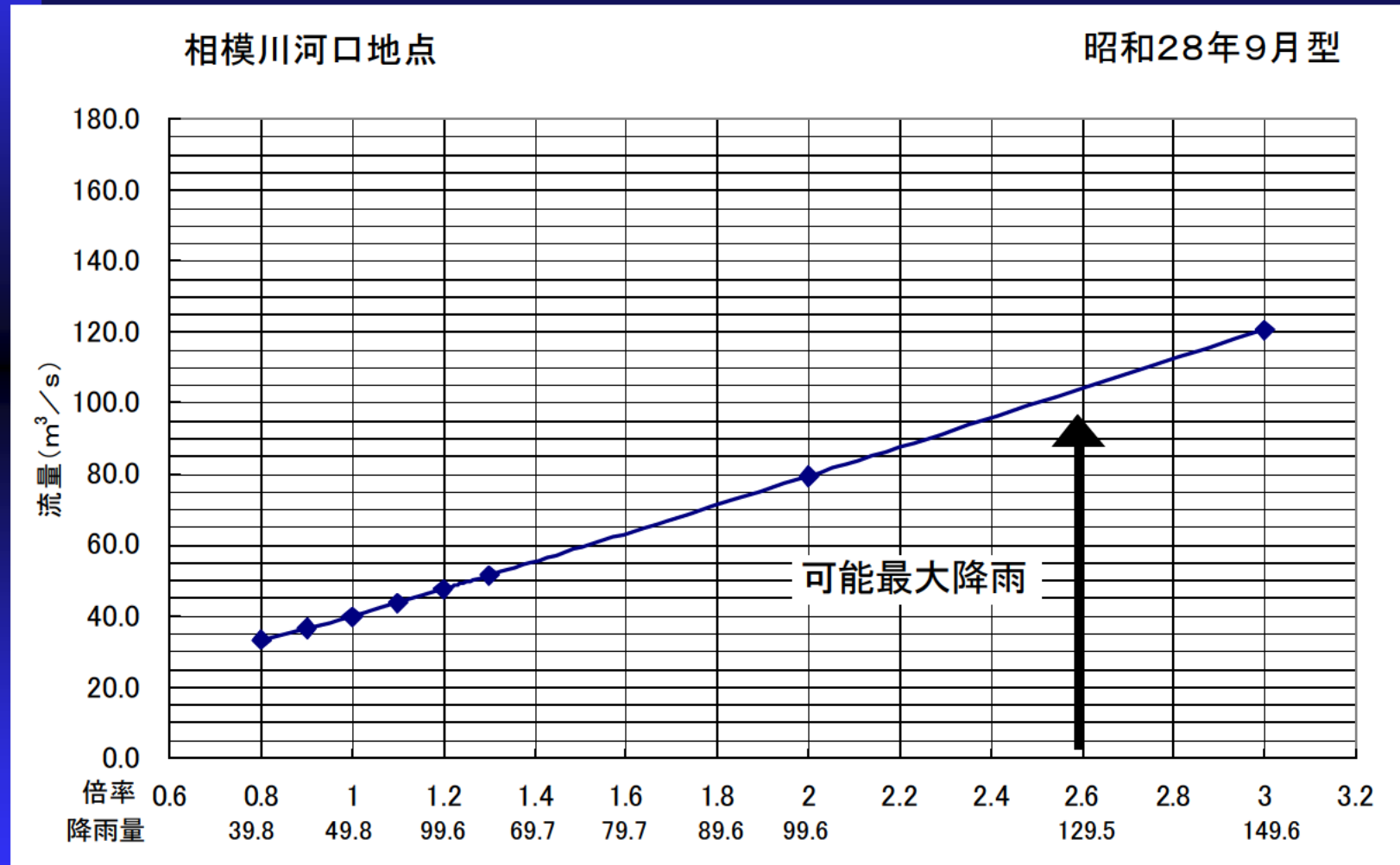
# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



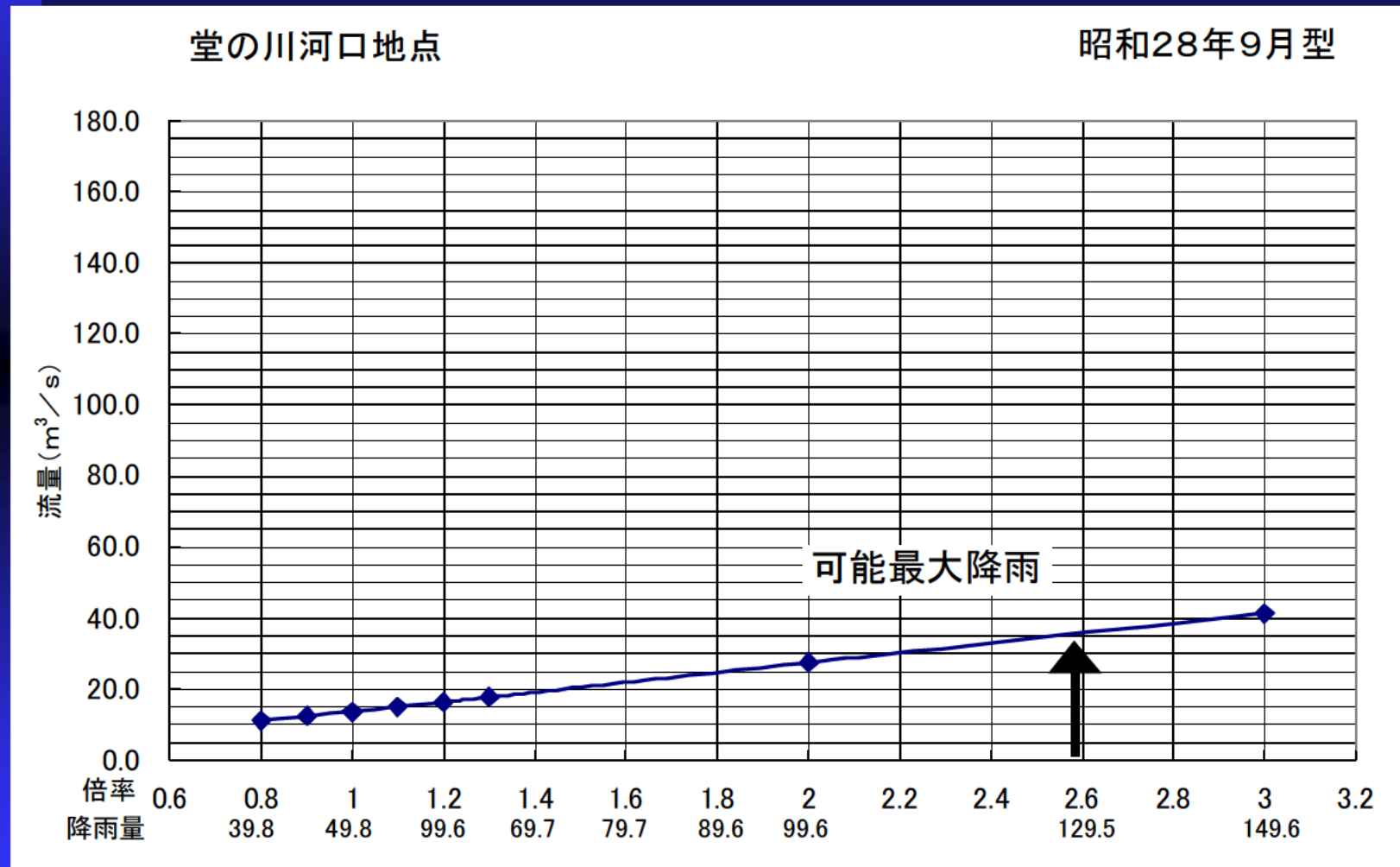
# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



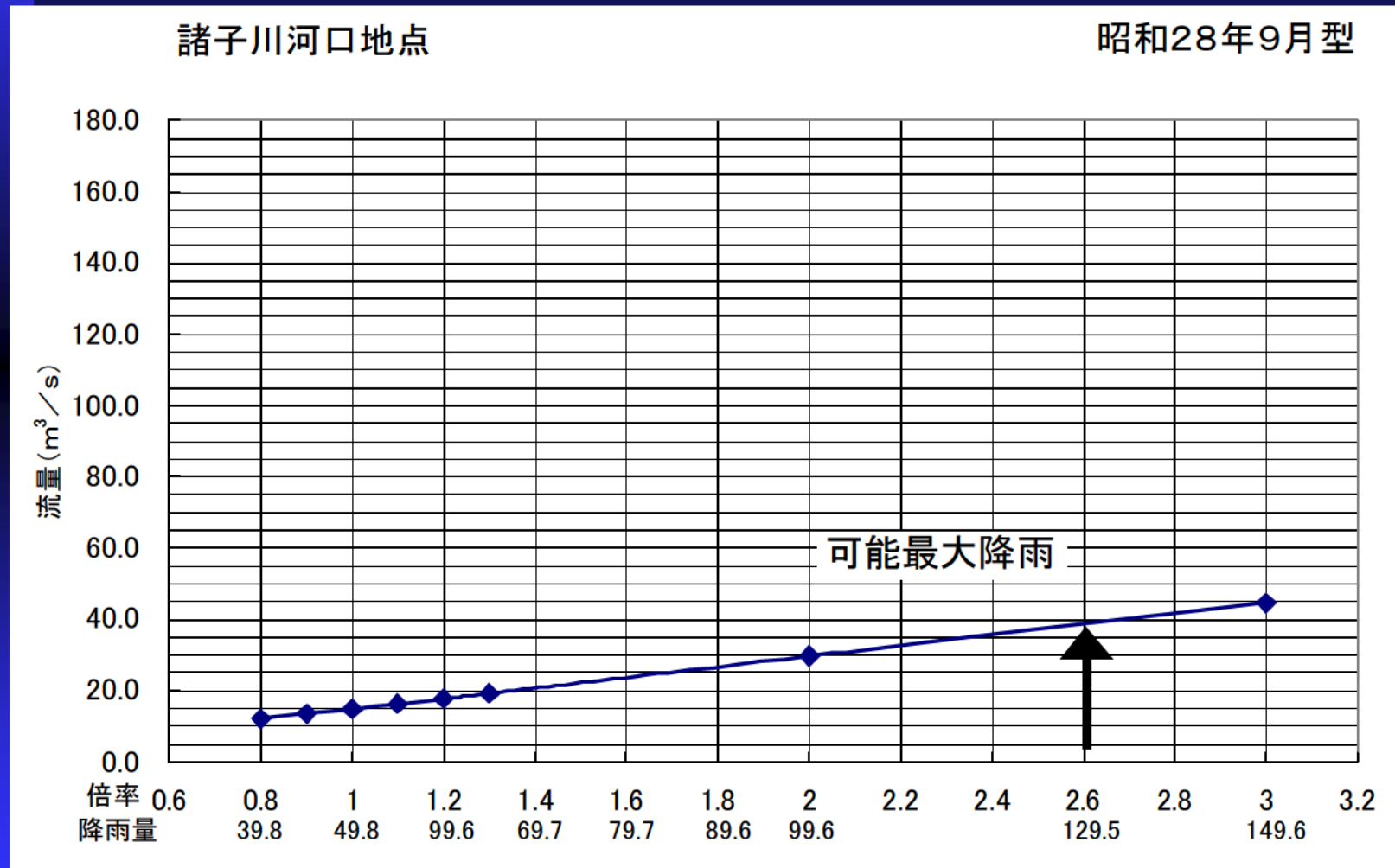
# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係



# 1. 降雨量と流量との関係

## 1.3 降雨量(1割増・2割増...)と流量との関係

### 可能最大降雨

- 過去に起こった近畿地方の降雨量を調査し、淀川 において最大限、降る可能性のある降雨量を統計的に求めたものです。
- ここでは、三田川他7河川の流域面積約15km<sup>2</sup>を対象に求めたものです。